

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	山村 伸	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)
本演習では専門演習Ⅰ・Ⅱで学んだ内容を基に、卒業論文・ゼミナール発表の準備を進めて行く。論文作成、発表準備の過程を通じて論理的思考と文章作成・データ処理能力を養うことを目的とする。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行うが、必要に応じプレゼンテーション・グループディスカッション・個別面談を実施する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	演習の進め方や研究の目的について説明する	☐
第2回	研究テーマの設定1	論文・書籍・インターネットを基に研究テーマを設定する	☐
第3回	研究テーマの設定2	先行研究を基に研究テーマを設定する	☐
第4回	研究計画の作成1	先行研究を基に卒業論文・ゼミナール発表に向けた研究計画を作成する	☐
第5回	研究計画の作成2	卒業論文・ゼミナール発表に向けた研究計画の具体的なスケジュールを作成する	☐
第6回	研究データの収集方法1	実験データの収集方法について検討する	☐
第7回	研究データの収集方法2	調査データの収集方法について検討する	☐
第8回	研究データの集計方法1	実験データの集計方法について検討する	☐
第9回	研究データの集計方法2	調査データの集計方法について検討する	☐
第10回	研究の進捗状況確認及び相談1	個別対応にて研究の進捗状況の確認と課題点の提示をする	☐
第11回	研究の進捗状況確認及び相談2	個別対応にて提示された課題点に対する取り組みを確認する	☐
第12回	研究の進捗状況確認及び相談3	個別対応にて研究の進捗状況の確認と中間報告会の内容を検討する	☐
第13回	卒業研究中間報告会の準備	卒業研究中間報告会の準備を実施する	☐
第14回	卒業研究中間報告会	演習内で卒業研究中間報告会を実施する	☐
第15回	まとめ	前学期の研究活動を振り返り、後学期の活動内容を明確にする	☐

■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容 (Preparation/review details)
卒業論文・ゼミナール発表に関連した書籍・文献を読む（2時間） 卒業論文・卒業研究に必要なワード・エクセル・パワーポイントの使い方を習得する（2時間）

■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)
課題については個別対応にて添削・修正を行う

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018人間健康DP2	研究計画に基づいた、研究の方法を身につけることができる

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
中間報告会でのパワーポイント提出（20％）、中間報告会の出来ばえ（10％）				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	特になし、必要に応じて資料を配布する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	演習内で適宜紹介する	
2		
3		
4		
5		